

「脳科学から読み解く『脳の気分』」

夫婦の相性もヒット商品も秘密は脳に有り!

平成26年5月16日、東京・千代田区のルポール麹町で、恒例のライフプラン講演会が開催されました。

今年は株式会社感性リサーチ代表取締役で感性アナリストの黒川伊保子さんをお迎えして「脳科学から読み解く『脳の気分』」をテーマにお話をうかがいました。



黒川伊保子

株式会社感性リサーチ代表取締役

【くろかわ いほこ】1959年、長野県に生まれる。奈良女子大学理学部物理学卒業。脳科学の見地から「脳の気分」を読み解く感性アナリスト。日本感性工学会評議員。NHK教育テレビ、日本テレビ等にも多数出演。主な著書に『日本語はなぜ美しいのか』（集英社新書）『夫婦脳 ～夫心と妻心は、なぜこうも相容れないのか』（新潮文庫）『いい男は「や行」でねぎらう いい女は「は行」で癒やす』（宝島新書）『キレル女 懲りない男——男と女の脳科学』（ちくま新書）等がある。

人間が一日で一番眠いのは2時半から4時半の間です。その眠い時間に座ってお話を聞いていただくわけですから、何とか頑張って楽しい話にしていきたいと思います。

私は31年前に大学を卒業してコンピュータの研究所に配属にされ、そこから人工知能の研究を始めました。潜在意識の領域で行われているさまざまな脳の演算をロボットの頭脳に実現する研究で、およそ40年先の社会が想像されていました。私に最初に与えられたミッションは人間とロボットの対話だったのですが、その研究で気づいたことがあります。それは男と女では気持ちいいと思う言葉の種類が違う、満ち足りたと思う対話の道のりが違うということでした。

私のようなカテゴリーの研究者は、脳を装置として見立てます。すると、これまでとはまた別の展開が図れたりします。特に男女脳は、炊飯器とオーブントースターくらい大きく違うんですね。炊飯器に食パンを入れてもトーストにならないように、オーブントースターにお米を入れてもふっくらご飯が炊けないように、これを入れたらこう出ると思っていたら、とんでもない物が出てきます。そこをお楽しみください。

察する天才と察しない天才

まず「脳の取扱説明書・第一章 男女のミゾ」です。本日は男性が多いですが、皆さん、奥様が急に「今日、私、何だか腰が痛いよ」と言ったら何と答えますか？

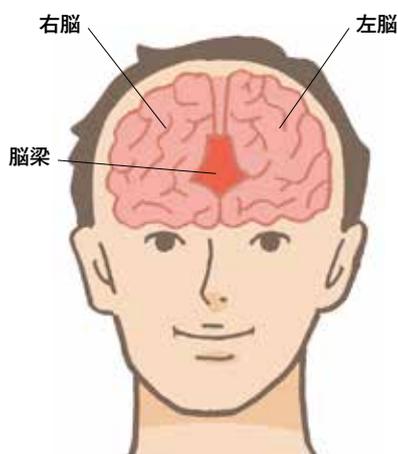
多くの成人男性の答えが「医者に行つたのか」「早く医者に行け」だそうです。こう答える理由は、男性脳が結論を急ぐ脳だからです。ところが、女性は共感してもらいために言葉をつむいでいます。女同士だったら「えー腰が痛い。それは辛いわね」と答えます。その一言が欲しくて言っているんですから。夫も一緒ですよ。今日から奥様が体調不良を訴えたら、必ず共感してあげてくださいね。「あー腰が痛いのか。それはつらいな」ですよ。これだけで好感度はかなり上がります。

さあ、一つ目は男性からよく寄せられる命題です。「女はなぜキレルのか？」しかも、ささいなこと。この質問をされたら私は「古今東西この星の上で、ささいなこ

とでキレイな女は一人もいません」と答えま
す。なぜ、女性にささいではないことが、
男性にはささいに見えるのか？ 脳科学で
説明できます。

女性脳は、脳の一次処理の領域に何十年
分の関連記憶を0・6秒とも0・06秒と
も言われるわずかな時間で展開できる脳で
す。それは女性脳が子育てのために進化し
てきたから。例えば子どもが熱を出した時
「どうしよう。いつもと熱の出方が違って心
配だわ」と思った瞬間、何カ月も前に公園
で立ち話をしたお母さんのさりげない一言
を思い出したり、何年も前にテレビのコー
ナーで見た情報を思い出したり、「子ども
が熱を出してどうしよう」の感情と共にあ
る記憶を一気に脳に展開します。この能力
があることで、女性は最初の子育てでも、
人生初体験の困惑でも、何とか乗り越えら
れるんですね。もちろん、この能力は他の
ことにも使われます。

女性の脳の中では過去の体験記憶が芋づ
る式につながっていますが、それをつなげ



るキーが情動です。その時の気持ちを見出
しにしてみればいくんですね。女性は共
感することが脳の知識データベースの大事
な基礎機能です。だから、共感するために
会話をしているのです。

ただし、女性脳には副作用もあります。
それは、夫や上司が何か無神経なことを言
ったら過去の無神経な発言も一瞬で思い出
すということ。だからキレイなんです。キ
レられたら男性は真摯に謝るしかありませ
ん。それが誤解であつても、とりあえずこ
の段階では謝っておくのが最善策です。

さあ、次の命題は「男はなぜ察してくれ
ず、挙げ句、言ってくればやるのになん
て無神経なことを言うの？」です。「言っ
てくればやるのに」を男性は親切心で言っ
ているのですが、この言葉は意外に女
性を傷つけています。女性脳は察するため
に進化してきました。哺乳類のメスである
人類は生命の危険に瀕しながら一個体を生
み出し、物言わぬ赤ん坊を無事育て上げる
ために何千年もかけて察する能力を精査し
てきたんです。大切な人のわずかな体調変
化も見逃さず、潜在意識で感じて、さまざま
まなりスクヘッジをしているんですよ。

一方の男性は鈍いほうが生き残れます。
男性脳は生殖に関しておおようなほうが得
です。目の前の異性をあまり綿密に観察し
て取捨選択しないように、男性ホルモンに
よってコントロールされています。だから、
妻が髪型を変えてもわからない。もう一つ、

男性は自分の体調変化にも鈍いようにつく
られています。それは死ぬまで戦えるよう
にするため。生理的パニックが起こった時、
脳内麻薬が出て、痛い、ダルい、つらいこ
とが感じにくくなるんです。ですから、ど
うぞ突然死にお気をつけください。

このように察する天才と察しない天才が
共に生殖しているのが人類の男女です。結
婚生活が365日幸せであるはずがないわ
けです。女性脳への処方箋はたった一言、
「あきらめよう」です。時には自分が死にか
けているのさえわからない人たちだもの。
嫌な顔をしたのがわからないくらい許しま
しょうよ。男性脳への処方箋は「察しな
かったことを謝りましょう」です。「言っ
てくればやったのに」は察することを放棄し
た言葉だから女性を傷つけるのです。今日
からは、この言葉が出そうになったら「気
づいてあげられなくてごめんね」と言っ
てください。これは心を打ちますよ。「愛し
てる」を言わないこの国では、もしかする
と最上の愛の言葉ではないかと思えます。

脳梁の太さが異なる男女脳

このような男女脳の装置としての違いを
つくるのが「脳梁」という場所です。脳梁
は右脳と左脳の脳細胞をつなぐ神経繊維の
束で、女性は男性より約20%太くなっ
ています。妊娠28週を過ぎた頃から、男の胎児
にだけ胎盤から男性ホルモンが供給され脳
梁が細くなつて生まれてくるのです。

ただし、妊娠時のコンディションなどに
より、細くなりきらずに生まれてくる男性
も人口の約7〜14%います。女性並みに太
いからといって、女っぽいとかゲイとい
うわけではありません。女性並みに太い脳梁
を生かして直感力型の経営者になったり、
指揮者やアーティストとして活躍されてい
る男性もたくさんいらっしゃいます。

そんなわけで、男女脳の違いは、脳梁の
連携の頻度と質の違いです。女性脳は感じ
る領域と言葉をつむぐ領域が頻繁に連携し
て、感じたことがどんどん言葉になって浮
かんできます。女性は一日2万語ほど脳に
上がり、そのうち6000語はしゃべらない
と眠れないそうです。6000語ってアガサ
クリステイの中編小説くらいありますよ。
したがって、女性の会話は一定量の言葉をし
やべることと共感することが大事なんです。
男性には女性の長い長い話を聞いていた
だかなければいけないんですけれども、共
感を盛大にしてくれると最短で終わしま
す。大事なのは言葉の反復です。共感して
くれとは言いませんから、相手が言った言
葉を反復してください。これは人工知能も
必ずやります。1960年代アメリカにお
ける人工知能の研究で、ロボットがやがて
言葉を操れるようになった時、何が一番大
事かといったら、相手の言葉の反復だとい
う研究成果もあつたくらいです。

一方、男性脳はとりとめもない話への耐
性が低いので、これは女性への提言です。

一日6000語もしゃべらないと眠れない女
性と暮らす男性のほうは、6000語も聞
かされたら早死にします。なぜなら免疫力
がだだ下がるからです。男性脳は話を聞く
時も空間認知の領域を開きます。「この話の
ゴールはどこで、いくつポイントがあつて、
キミ今いくつ目しゃべっているの？」とい
たことを無意識のうちに整理しようとしま
す。その構造は女性の話にはありません。

無い構造を切り出そうとするから脳が混乱
するんですね。空間認知の機能は危険察知
も兼ねているので、ここが空回りすると大
変危険です。だからストレスが溜まって免
疫力が下がります。よって「妻の6000
語は女同士でしゃべって、あまり夫にぶつ
けないこと」「夫や息子をグチャや指図で追い
立てないこと」がとても大事だと思います。

これも女性への提言で「大事なことは結
論から言う」「数字を言う」ということです。
そうすると男性からの好感度が上がりま
す。女性は頭がいいから一瞬のうちに長い
話を咄しゃくできるんです。だから、相手
に長い話をぶつけるんです。でも、そんな
長い話を受け止められないから、男性には
頭が悪いと思われまます。というわけで、男
性相手には結論から言うようにしましょう。

夫が冷蔵庫の中の賞味期限切れに 気づくわけ

さあ、次は物の見方の違いです。男性の
目線の運びは「3次元点型認識」と言つて、

3次元空間をまばらに見ます。空間の広さ
を把握し、遠くから近づいてくる危険な物
に瞬時に照準が合うようにするためです。
これにより手前にある物に対しては手薄
で、3m以内にある物が目に入らなくなり
ます。女性のほうは逆で、目の前をなめる
ように見る「2次元面型認識」です。

例えば、冷蔵庫の扉を開けて、男性は奥
行きも含めて全体をまばらに見ます。それ
に対し、女性は見える物をまんべんなく見
ます。これはお互いに欠点があるんです。
男性は目で見えているのに脳で見えないこ
とが起こります。ですので、私が夫に「か
らしのチューブ持つて来て」と頼むと、
4m離れた私から見えないのに、夫は「無い」
と言つて持つて来れないのです。その代わ
り女性は奥に入った物を脳が見逃します。
つまり、賞味期限の切れた海苔の瓶とかが
いつまでも残っているんですね。これは女
性らしい脳の特徴ですが、夫はこれだけ見
つて持つて来るんですよ。頼んだ物は持
つて来ないのに、賞味期限切れの海苔の瓶
だけは持つて来る。

結婚当初は嫌なヤツと思つていましたけ
れども、ある国際的な学会でこの冷蔵庫の
発表を聞いたんです。その時、私は「夫は
嫌がらせしたんじゃないかな。私たちが
は全く違う物の見方をして、それを持ち寄
るようにして夫婦になったんだな」と思い
ました。この世には2つの脳があり、夫婦
はリスクヘッジのために全く別の脳を持ち

ヨーロッパのある国で、これらの2つの図形は、BoubaとKikiと呼ばれています。

あなたは、どちらがBoubaで、どちらがKikiだと思いますか？



寄っているのです。全く別の物を見て全く別の感じ方をするので、感性上は当然イラつく相手です。

しかし、そういう2人が一緒になることがとても大事なのでしょう。片方は空間全体を把握して物までの距離を正確に測り、複雑な図面を読みます。変化には弱いけれど、死ぬまで頑張れる脳の持ち主。もう片方は目の前の物をなめるように見て、他者の体調変化や食べ物への腐り具合を敏感に察知します。おしゃべりによって潜在情報を収集し、それは何十年経っても臨機応変に使える脳。

この2つの能力を1つの脳に納めるとなると、頭蓋骨が今の1.5倍以上必要で、何より深刻なのはとっさの判断が数秒もかかるようになることです。私たち人類は必要

な感性を真つ二つにわけて、男女の脳に搭載しました。だから、私たちはどんなにイラついても一緒にいたいといけないんですね。

しかも、イラつくというところに意味があります。これは同性も一緒です。重要なプロジェクトを成功させようとしたら「何を考えているかわからん」という相手をパートナーにしたほうがいいのです。成功した経営者を見ると、友人としては厳しい相手をパートナーにしています。あるいは友情を深めずわざと距離を置いて、全く違う物の見方ができるようにしています。

どうか男女のみならず、「何を考えているのかわからん」「ホント腹が立つ！」という相手をパートナーにお選びください。そして今そういう相手をパートナーに持っている方は、おめでとございます。最高のパートナーですから、今日からはイラついた瞬間にそれを愛に変えてくださいね。

口の中で起こる構造がもたらす

発音体感

ここからは「脳の取扱説明書・第二章 言葉の秘密」に入っていこうと思います。

私は長年、語感というものと付き合っています。語感をコントロールしないと、やがてメカと人間がしゃべるようになった時に大変なことになると語感の研究を始めたのが1991年でした。

語感の研究成果を求め心理学の世界に入ったところ、こういう命題がありました。

「雲状のもくもくの図形と星形のとげとげの図形。これはヨーロッパのとある小国で、ブーバとキキと呼ばれている図形です。あなたはどちらがブーバで、どちらがキキだと思いますか？」あらゆる国籍やあらゆる年齢の人にこの質問をすると、98%以上の人が「とげとげの図形がキキで、もくもくの図形がブーバ」と答えます。このブーバキキ効果は明らかに認められるものの、明確な理由もなく、私は困っていました。

ある時、うちの息子がおっぱいをくわえ損ねて大変美しいM音を発音しました。「赤ちゃんの発音する単体子音のMは、なんて美しいの！」と思った瞬間、私はハッと気づきました。Mの音はおっぱいをくわえた時の口の形だと。そう気づいてみると、世界中のお母さんがM音で呼ばれています。ママ、マンマ、マミーと赤ちゃんがM音でお母さんを呼ぶのは、口の形に一番添っているから。

つまり、発音の体感というのは、発音した時の口の中で起こる構造がもたらします。「まみむめも」の音は、舌の上の息の空洞がゆっくりと膨らんでいくから、満ち足りて、甘くて、まったりした感じがします。これらの言葉は全部Mの音がアクセントに使われています。口の中で起こることで、脳の運動野が受け取るイメージから直接イメージをつくっているというところに気がつきました。

では、発音しなければわからないかと言えば、そうではありません。実は生まれた



瞬間から、私たちは目の前の人の口の動きを「ミラーニューロン」と呼ばれる鏡の脳細胞で写し取っています。目の前の人の口元がやわらかく動けばやわらかいと感じる、つまり、発音した時の口元で起こる運動の物理効果は脳の意味処理に先んじているのです。

そんな風に発音の体感で語感を見てみると面白いんです。私たちは言葉を使うわけですが、その言葉は語感抜きには考えられないということを感じます。やわらかい発音体感は癒やしの気分をつくり、軽やかな発音体感は軽やかな気分をつくります。語感と実態が一致すると気持ちいいですね。

例えば、ショートケーキとモンブラン。皆さん「ショートケーキ」の意味をご存じですか？ 短いからショートケーキじゃないですよ。ショートニングという油でつくったスポンジを使うからショートケーキです。意味もよくわからないまま言葉が定着したのは、おそらく発音の体感が軽やかなスポンジと合っていたからでしょう。

もう一つのモンブランはフランス語で白い山という意味ですが、実際は黄色いですよ。フランスで栗のケーキと呼ばれていたあのケーキが日本に入ってきた時、ある洋菓子店が「モンブラン」という名前にしたんです。語感があのケーキのボリューム感にぴったりで、今ではフランスに逆輸入されモンブランと呼ばれているそうです。

意味と違っていても、こんな風に心に残ることがあるんです。

美しい「やまといとせ」

言葉を選ぶ時は、発音して語感を確かめてみればわかります。「さしすせそ」「かきくけこ」など無声子音はクールで科学的な感じがしますし、「あいうえお」「まみむめも」など母音と有声子音は人肌を感じさせます。

これは会話にも使えます。心を開いてもらいたい相手には心掛けて母音を使います。「ありがとう」「おかげさまで」「おつかれさま」みたいな言葉。あるいは「こころ」や「いち」「かぜ」などやまとことば系の訓読みの言葉は、人の気持ちをホッとさせる効果があります。「おはよう」「いつてらっしゃい」「お帰りなさい」は母音を強く使う言葉で、心がつながる感じがします。日本にはこの言葉があるから「愛してる」を言わなくても家族はつながることができると思うくらいです。

逆に相手に凛々しくなつてもらいたい時、例えば女性がプロジェクトリーダーになったりした時には、心掛けて子音の言葉を使うといいでしょう。女性が「みんな頑張ろうね」と言うと幼稚園の運動会のようにですが、「期待しているよ」と言うと上司感が出てきます。これは人から聞いた話ですが、かつて甲子園で連勝を繰り返した池田高校の篤監督は、試合前は子どもたちを漢語で激励し、試合後はやまとことばで労っていたそ

うです。さすがは名監督だと思いました。このように、言葉は意味も大事だけれども、発音体感も大事なんです。このことを世界で最初に口にしたのはソクラテスで、文献の中にその言葉が残されています。

「言葉の本質とは、その言葉が指し示すところの事象と口の模倣の一致にある。我々がもし、音声を持たない民族だったとしたら、生き物だったとしたら、他者に空に浮かぶ物を伝えたい時、手を空に向けてふわふわと動かさないだろうか。動物ならその所作を真似するだろうか。我々は自然に表現したい事象を真似るではないか。言葉がそれを行っていないわけがない。しかるに、名前とは模倣される対象の音声による模倣品である」

要は発音体感が一致するということで、ソクラテスは「美しい言葉とは、模倣の完成度が高い言葉を言う」と言っています。同時代の日本列島では、まさに事象と発音体感が一致する言葉が使われていました。やまとことば、正式にはその前の古代日本語ですが、私たちはやまとことばで発音体感と意味が一致していない単語をいまだに見つけることができます。

というわけで、いかがでしたでしょうか。私は日本語をとて愛しております、美しい日本語を誇り高くしゃべっていきいたいと思っています。長い時間お付き合いいただき、ありがとうございました。